

2018年度第2四半期決算

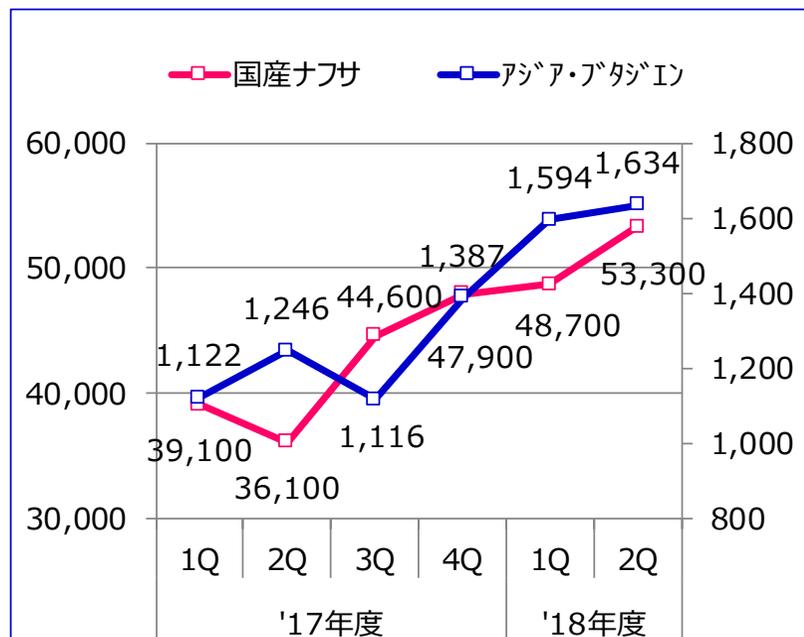
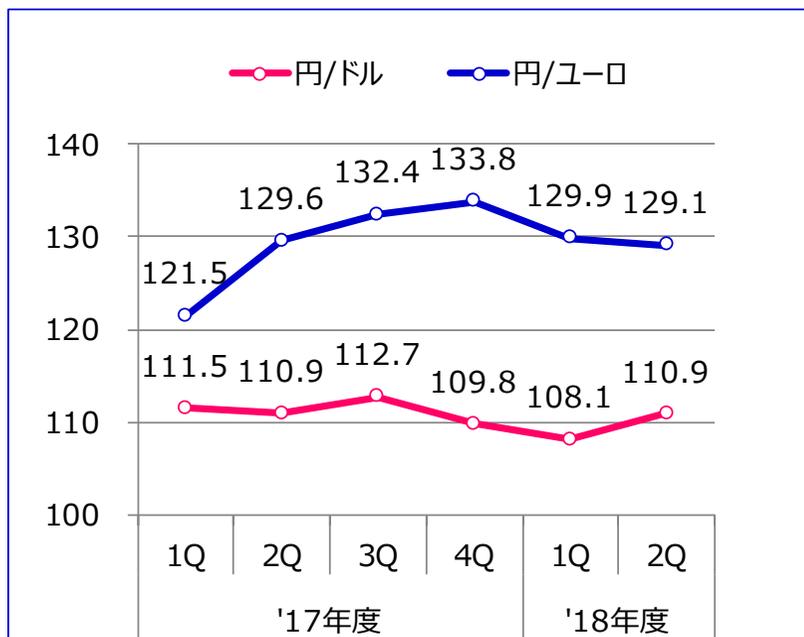
(2018/4~2018/9)

ZEON

日本ゼオン株式会社

2018年10月31日

(通期平均)	2018 第2四半期	2017 第2四半期	増減	増減率
円/ドル	109.5	111.2	-1.7	-2 %
円/ユーロ	129.5	125.6	3.9	3 %
原油 (\$/bbl)	75	51	24	46 %
国産ナフサ (円/kl)	51,000	37,600	13,400	36 %
アジア・ブタジイン (\$/t)	1,614	1,184	430	36 %
イソブレン (\$/t)	1,540	1,079	461	43 %
天然ゴム (\$/t)	1,364	1,535	-172	-11 %



(四半期平均)

事業概況

■ エラストマー素材

・ ゴム事業

国内販売は堅調に推移し、海外子会社も米国を中心に好調であったが、天然ゴムの市場価格低迷の影響から、輸出販売は前年同期を下回った。海外における手袋向け販売が一時低調。

・ ラテックス事業

・ 化成品事業

国内販売・輸出・海外子会社とも堅調に推移したが、原料価格上昇の影響を受け、営業利益は前年同期を下回った。

■ 高機能材料

・ 高機能ケミカル事業

化学品は合成香料の販売が堅調。電池材料は順調に拡大が進んだ。

・ 高機能樹脂事業

COP樹脂は光学用途の販売が堅調に推移。

光学フィルムはテレビ向け、モバイル向けともに顧客の在庫調整影響を受けた。

トピックス

4月：川崎工場における特殊架橋タイプ水素化ニトリルゴムの乾燥能力増強を決定。
(2019年9月完工予定)

8月：タイにアクリルゴムの製造・販売を行う子会社を設立し、新工場建設を決定。

10月：富山県高岡市における光学フィルムの原反製造ライン生産能力増強を決定。
(2019年10月稼働開始予定)

10月：福井県敦賀市において光学フィルムの大型TV向け位相差フィルム製造ライン新規増設を決定。
(2020年4月量産開始予定)

	2018 第2四半期	2017 第2四半期	増減	増減率
売上高	1,690	1,667	24	1 %
営業利益	180	199	-19	-10 %
営業外収支	23	18	5	31 %
経常利益	203	217	-14	-6 %
特別収支	-2	-7	5	- %
税前利益	200	210	-9	-4 %
当期純利益	145	143	2	1 %

前年同期比

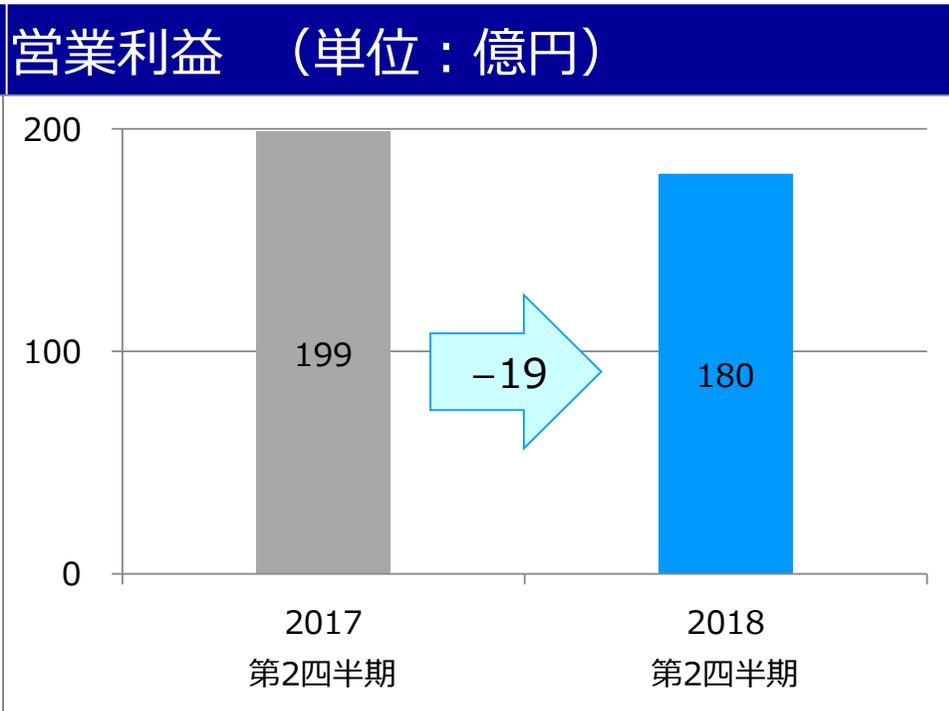
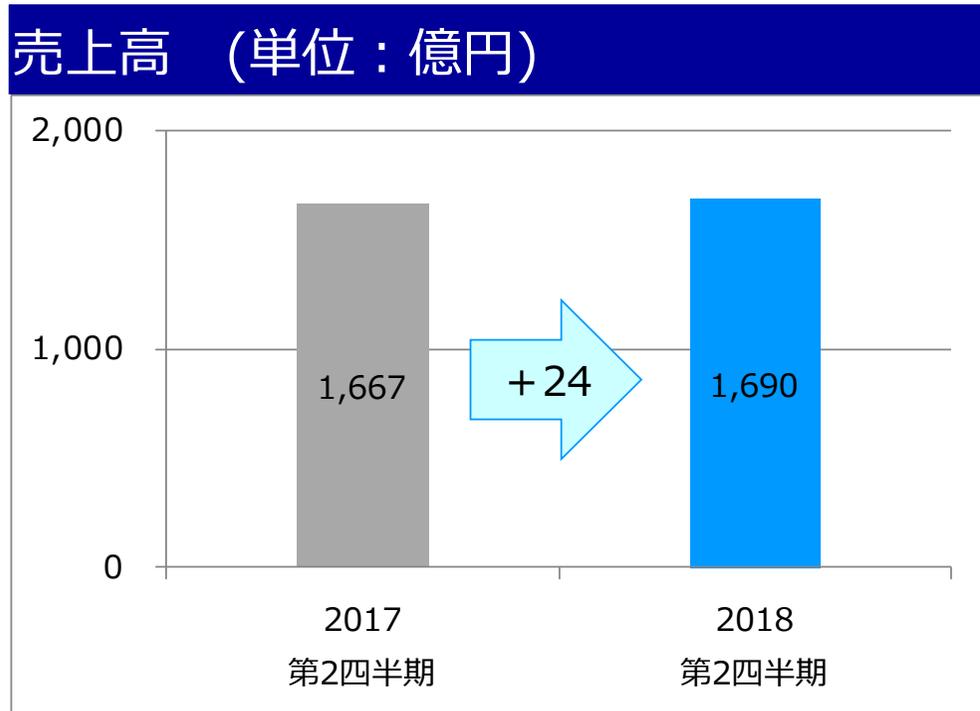
売上高： 24億円増収 営業利益： 19億円減益

◆エラストマー素材：増収・減益

原料価格の上昇により増収するも、海外市況は反応遅れ。

◆高機能材料：減収・増益

高機能ケミカルの売上高が堅調に推移。
高機能部材で顧客の在庫調整が影響。



<売上高>

エラストマー素材	+ 18
高機能材料	- 7
その他・消去	+ 13

<営業利益>

エラストマー素材	- 18
高機能材料	+ 6
その他・消去	- 6

	2018 第2四半期	2017 第2四半期	増減	増減率
販売数量（千トン）	308	303	5	2 %
ゴム	175	177	-2	-1 %
ラテックス	61	65	-4	-6 %
化成品	72	62	11	17 %
売上高	1,002	984	18	2 %
ゴム	704	695	9	1 %
ラテックス	95	100	-5	-5 %
化成品	194	178	16	9 %
その他・消去	10	12	-2	-19 %
営業利益	95	114	-18	-16 %
営業利益率	9.5%	11.6%	-2.0 pt	

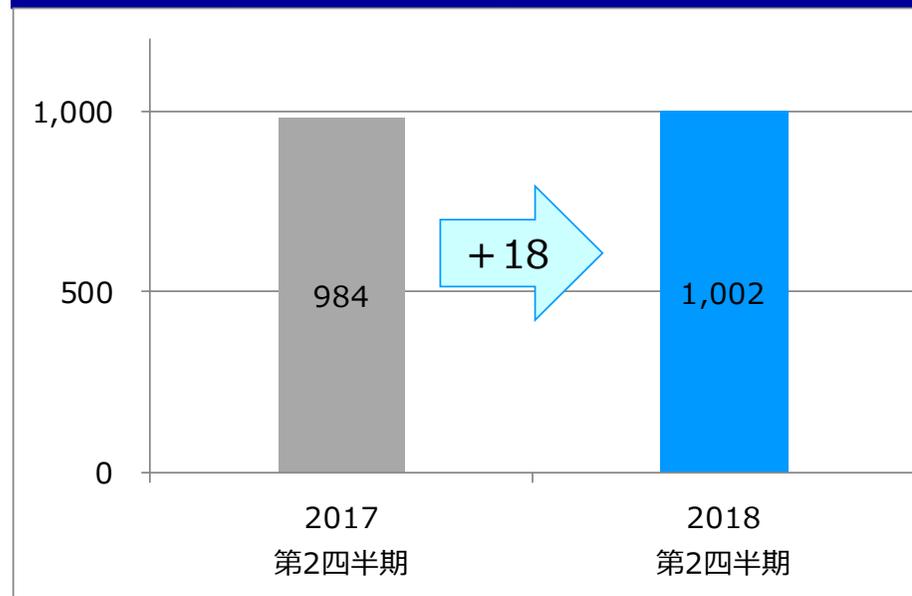
◆エラストマー素材：増収・減益

販売価格の上昇によりゴム事業・化成品事業で増収。
化成品事業は海外市況が低迷するも値上げが浸透。

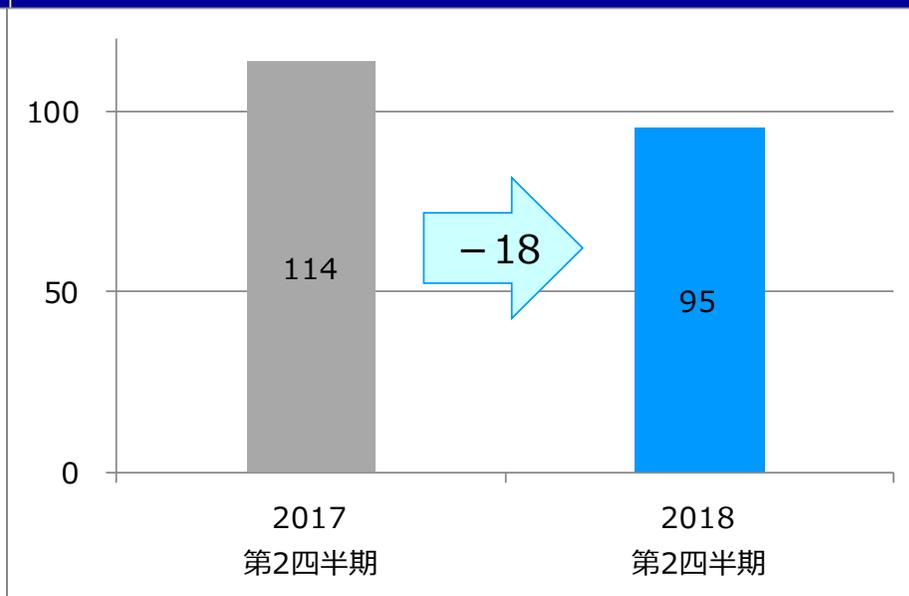
◆ゴム販売数量増減率 -1%の内訳

汎用 -2% → 輸出販売低調
特殊 +2% → 国内販売堅調

売上高 (単位：億円)



営業利益 (単位：億円)



<売上高>

ゴム	+ 9	： 販売価格上昇、海外子会社堅調
ラテックス	- 5	： 顧客定検、工場定検に伴う出荷減
化成品	+ 16	： 原料価格上昇分を価格転嫁
その他・消去	- 2	

<営業利益 前年同期比較>

数量差	+ 10	： 化成品数量増
価格差	+ 14	： 販売価格上昇、化成品値上浸透
為替差	- 2	： \$111.2/円 → \$109.5/円
原価差	- 33	： 原料価格上昇
販管費差	- 7	： ゴム定検在庫保管料、化成品数量増に伴う運賃増加

	2018 第2四半期	2017 第2四半期	増減	増減率
売上高	424	431	-7	-2 %
高機能ケミカル	134	113	21	19 %
高機能樹脂	264	290	-26	-9 %
メディカル他	26	28	-2	-7 %
営業利益	87	82	6	7 %
営業利益率	20.6%	19.0%	1.6 pt	

◆高機能材料：減収・増益

合成香料、電池材料が好調。

光学フィルムは顧客の在庫調整等で低調。後半は回復基調。

◆高機能ケミカル部門の売上増減率 +19%の内訳

化学品 +14%、電子材料 -5%、電池材料 +36%、トナー +12%

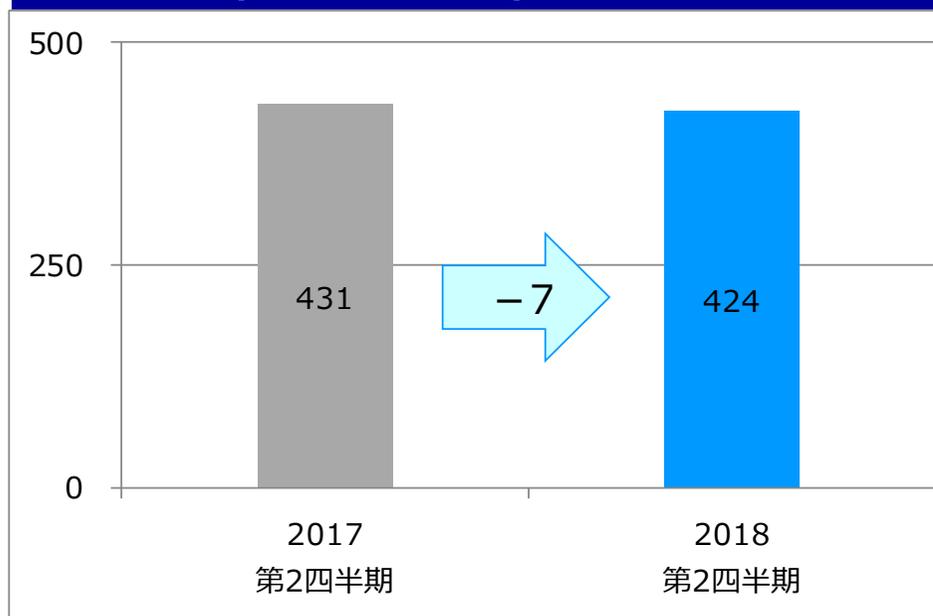
◆高機能樹脂部門の売上増減率 -9%の内訳

COP樹脂 +3%、光学フィルム -12%

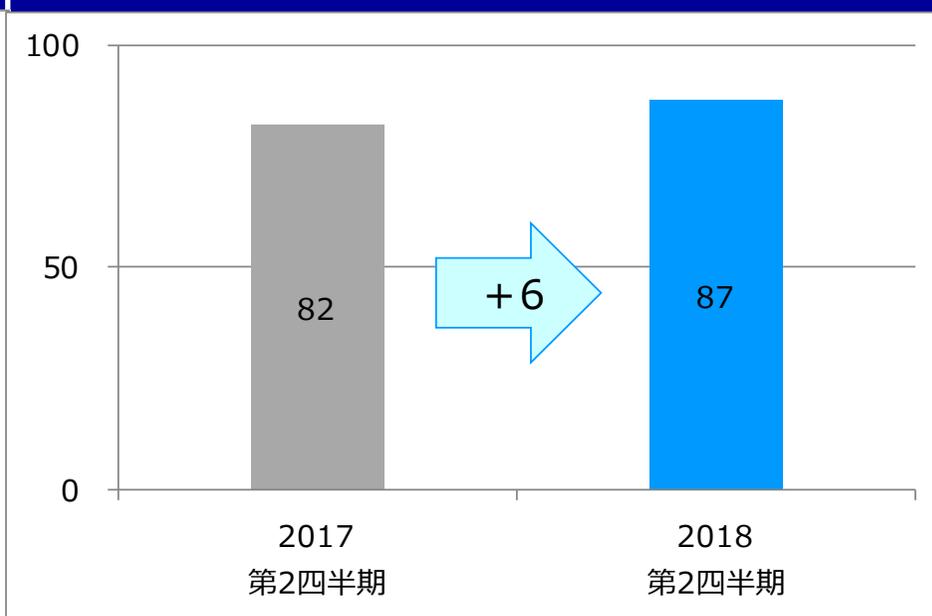
◆光学フィルム販売数量 -3%

◆中小型向け光学フィルム比率（売上高） 2017年Q2 28%→2018年Q2 23%

売上高 (単位：億円)



営業利益 (単位：億円)



<売上高>

高機能ケミカル	+21	: 化学品、電池材料が堅調
高機能樹脂	-26	: 光学フィルム顧客在庫調整
メディカル他	-2	

<営業利益 前年同期比較>

数量差	+20	: 化学品、電池材料数量増
価格差	-6	: 電池材料構成差
為替差	-1	: \$111.2/円 → \$109.5/円
原価差	-3	: 原料価格上昇
販管費差	-4	: 電池材料数量増による運賃増

	2018 第2四半期	2017 第2四半期	増減	増減率
売上高	276	262	14	5 %
営業利益	13	16	-4	-22 %
営業利益率	4.6%	6.2%	-1.6 pt	

◆その他 : 増収・減益
 RIM、商社部門での販売が堅調に推移。

資産				負債・純資産			
	18/9末	18/3末	増減		18/9末	18/3末	増減
流動資産	2,266	2,249	18	流動負債	1,306	1,393	-86
現預金	357	417	-59	買入債務	872	840	32
売掛債権	816	793	22	短期有利子負債	148	266	-118
未収入金	369	362	7	その他	286	287	-1
棚卸資産	682	639	43	固定負債	409	413	-4
その他	43	37	6	長期有利子負債	120	120	0
固定資産	2,125	2,157	-31	その他	289	293	-4
有形固定資産	1,107	1,156	-48	純資産	2,676	2,599	76
無形固定資産	31	34	-3	自己資本	2,647	2,572	75
投資有価証券	894	874	21	その他	29	28	1
その他	93	94	-1	負債・純資産合計	4,392	4,405	-14
資産合計	4,392	4,405	-14				
資本的支出	47			有利子負債	268	386	-118
減価償却費	-91			自己資本比率 (%)	60.3	58.4	1.9
その他影響	-7			D/Eレシオ	0.10	0.15	-0.05
固定資産増減	-51						

◆キャッシュ・フロー

	18Q2	17Q2
営業活動によるキャッシュ・フロー	197	264
投資活動によるキャッシュ・フロー	-73	-68
フリー・キャッシュ・フロー	124	196
財務活動によるキャッシュ・フロー	-188	-49
キャッシュ・フロー	-65	146

◆社債の償還100億円を実施。
有利子負債減少に伴い、自己資本比率、
D/Eレシオが改善。

	2018	2017	増減	増減率
売上高	3,200	3,327	-127	-4 %
イラストマ-素材	1,840	1,946	-106	-5 %
高機能材料	850	865	-15	-2 %
その他	530	539	-9	-2 %
消去	-20	-23	3	
営業利益	320	389	-69	-18 %
営業利益率	10.0%	11.7%	-1.7 pt	
イラストマ-素材	170	222	-52	-23 %
高機能材料	160	167	-7	-4 %
その他	-10	-0	-10	- %
営業外収支	20	20	-0	
経常利益	340	409	-69	-17 %
当期純利益	240	131	109	84 %
配当金(円/1株)	19.00	17.00	2.00	12 %
円/ドル	100.0	111.2	-11.2	-10 %
円/ユーロ	130.0	129.3	0.7	1 %
国産ナフサ	44,000	41,800	2,200	5 %
アジア・ブタジイン	1,200	1,218	-18	-1 %

(円/kl)
(ドル/t)

4月27日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

本資料に掲載されている当社の計画、見直しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる場合があります。

2018年度 第3四半期	2019年1月31日（木） 発表予定
-----------------	--------------------

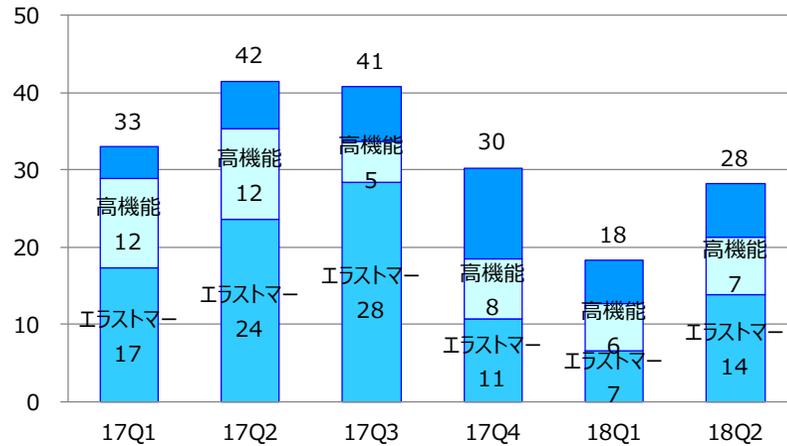
※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

以下、資料

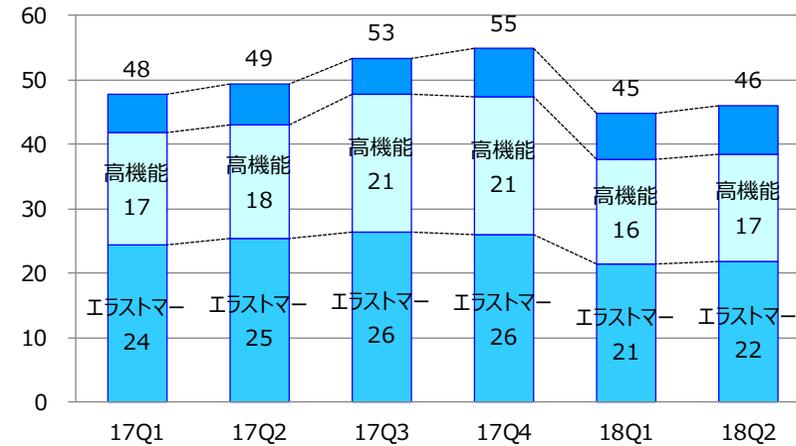
参考資料：四半期損益推移 千トン、億円

	2017				2018		1Q→2Q	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減	増減率
販売数量 (千トン)	149	154	156	162	159	149	-10	-6%
ゴム	84	92	90	93	91	84	-7	-7%
ラテックス	33	32	32	33	31	29	-2	-6%
化成品	32	30	34	36	37	35	-2	-5%
売上高	828	839	843	817	837	854	17	2%
エラストマー素材	492	492	476	486	509	493	-16	-3%
ゴム	345	350	347	339	363	340	-23	-6%
ラテックス	52	48	45	47	44	51	7	15%
化成品	88	89	77	93	98	96	-2	-2%
その他・消去	6	6	7	7	4	6	2	61%
高機能材料	212	219	231	203	195	229	34	17%
高機能ケミカル	55	58	66	64	66	68	3	4%
高機能樹脂	144	146	150	124	116	148	33	29%
メディカル他	13	15	14	14	14	12	-2	-13%
その他・消去	124	128	137	128	132	132	-0	0%
営業利益	97	102	108	82	85	95	11	13%
営業利益率	12%	12%	13%	10%	10%	11%	1 pt	
エラストマー素材	54	60	52	55	51	44	-7	-14%
高機能材料	41	41	52	33	34	53	20	57%
その他	1	2	3	-7	-1	-2	-2	-

資本的支出 推移 (単位：億円)



減価償却費 推移(単位：億円)



研究開発費 推移(単位：億円)

